

— 三春分団第4部（大町） —

＼私もひとこと／

団員減少が有事の際の出動に影響が生じていることを聞き、消防団の深刻な現状を初めて知りました。日頃から地域の安心安全のためにご尽力いただきありがとうございます。

大町 A.H.さん



部長
むなかた ゆうや
宗像 雄也さん

消防団の通常活動は、月2回のポンプ整備や訓練、そして担当区の消火栓の点検などがあります。第4部は地元で消防団候補者がおらず、団員11名のうち5名が役場職員という状況で、地域を見守るには大変厳しい現実です。

部長
やぎぬま あつし
柳沼 敦さん



— 三春分団第5部（北町） —

＼私もひとこと／

県外から来て消防団に入ったことで、団員同士のつながりができたことはとても良かったと感じています。入団前はそうした関係がなかったため、地域に溶け込むきっかけにもなりました。一方で、北町はもともと人口が少なく、新入団員の確保が難しい状況にあります。現在は実質4人で活動しており、有事の際には他の部と連携しながら対応しなければならず、苦勞しているのが現状です。

本当にご苦勞さまです。日頃の活動に心から感謝しております。一定の人数がそろわないと出動が難しいのではないかと感じることもあります。入団は個人の意思によるものだと思いますので、団員確保のご苦勞も大きいのではないかと思います。

北町 Sさん

— 三春分団第7部（八島台） —

＼私もひとこと／

八島台地区では、これまで自営業や会社勤めの方々が、少数精鋭で消防団活動を支えてきました。火災が起きればすぐに現場へ向かい、日頃からポンプ車の点検や夜警、訓練などに取り組まれています。その裏には、家族との時間を削ってまで地域を守る覚悟が垣間見え、頭が下がる思いです。だからこそ、私たちも「火の用心」を心がけ、感謝の気持ちを行動で示していきたいと思います。

八島台 A.I.さん



部長
まつなが まさと
松永 正人さん

三春町の名前を背負い活動できることにやりがいを感じています。火災予防や防災への関心を高め、安全な町づくりを目指したいと思います。現在、団員確保が大きな課題です。

議員のつぶやき

定例会3月会議で消防団設置等に関する条例の改正議案が提出されました。消防団員の定数500人を400人とする改正です。各地域で消防団員の確保について努力されているとのことですが難しい状況です。これを受けて消防団で協議いただき、実際に活動できる人数や、減らすことによる経

費削減、機能別消防団員が今後増えていくことなどいろいろ検討されました。その結果「400人が妥当である」との説明を受け、全会一致で可決となりました。消防団員の実員数は4月5日付で346人です。総務常任委員会としても、今後団員の皆さんの処遇改善を応援してまいります。 三瓶 文博